

会 議 録

1	会議名称	平成26年度宝達志水町地域交通会議
2	日 時	平成26年6月27日（金）午前10時00分から
3	場 所	役場庁舎 2階 第2応接室
4	出席委員	高島委員、室田委員、細川委員、林委員、源野委員、藤土委員、石月委員、早松委員、中谷委員、定免委員、松原委員 (欠席) 平島委員
5	事務局	(企画振興課) 近岡課長、松浦主幹、守田主任 (健康福祉課) 村井課長、近岡主幹 (コンサルタント) 株式会社計画情報研究所
6	会議次第	1 報告事項 (1) 報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について 2 議事案件 (1) 議案第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について (2) 議案第2号 自家用有償旅客運送事業に係る登録の更新について 3 その他
7	議 事	<開会>
	事務局	1 報告事項 (1) 報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について 事務局より説明。(資料No.1 参照)
	議 長	デマンドタクシーの利用者が年々減少してきているということですが、実際に運行をしている事業者の敷浪タクシーとしては、どのように感じていますか。また、運行ダイヤを改定してからの現状はどのような感触ですか。
	源野委員	事務局からも説明があったように、団塊の世代の方々は、交通弱者というよりは車の運転をされる方が大半である。また、80歳から90歳代の自分で車の運転が出来ない方々が年齢を重ねることによって、亡くなられたり、特養ホーム等に入所されることにより、よく利用される「お得意様」が減少することが、事業を始めた頃から比較して利用者が年々減少している理由として挙げられるのではないかと感じている。 しかし、これまで利用したことが無かった方が、デマンドタクシーを使ってみることで「これからも使っていけないといけない」と考えるようになる方もいる。そのような方々が、どのような使い方をしているか、どのように工夫をすれば利用者が増えていくかを運行ダイヤの見直し等を含めてやっていきたい。 今年度は、昨年度と同様のダイヤで運行しているが、来年度はスクールバスの件などを含め、様々な要素が入ってくるため、町担当課と協議しながら

	<p>運行ダイヤの改正等、見直しを図っていききたい。</p> <p>利用者が減少していることは問題だが、どのようにしたら今の利用者が継続して利用していけるか真剣に考えていききたい。</p> <p>利用状況としては、病院へ行く、買い物へ行く、その帰りというのが大半であり、それ以外には、お寺へ行く等の細かいニーズもあるため、そういったニーズに応えられるよう検討していききたい。</p>
議 長	<p>資料の5ページを見ると、利用場所は通院と買い物が主なものになっていることが分かります。時間帯ではどのようになっていますか。</p>
源野委員	<p>午前中が一番多い。</p> <p>8時30分、10時10分の便を利用する方が多く、帰りに関しては、11時、12時40分の便を利用するという形が一番多い。</p>
議 長	<p>午後の利用者というのはどうですか。</p>
源野委員	<p>午前中に比べると、やはり少ない。</p>
議 長	<p>利用者の主な利用目的は通院ということで午前中の利用が大部分となっているかと思いますが、その傾向は今後も変わらないと感じられますか。</p>
源野委員	<p>そう思う。</p>
議 長	<p>その他、事業運営を行っているうえで、改善したら良いと思う点はありませんか。</p>
源野委員	<p>事業開始当初は志雄地区の山間部からの利用者が多かったが、今では平野部からの、特に押水地区から利用者が少しずつ増えてきており、押水地区から志雄病院への通院や買い物へ行くためのニーズが、ここ2年程の間に増えてきているように感じている。</p> <p>午前中に平野部の押水地区から、スムーズに時間をかけずに輸送できるシステムを考えれば、利用が増える要素があるのではないかと考えている。</p> <p>山間部からのウェイトは確かにあるが、高齢者が多いため利用者が減少してくるから、人口の多いところにウェイトを変えていけば利用が増えるのではないかと思う。</p>
林 委 員	<p>友人が西村クリニックへの通院にデマンドタクシーを利用しているが、診察が終わったら、近くの銀行と郵便局等で用事を済ませたあと、帰りはデマンドタクシーを使わずに、普通のタクシーで帰っているらしいが、帰りにもデマンドタクシーを使うことはできないのか。</p>

源野委員	<p>帰りの時間と運行ダイヤの時間が合えば利用することは出来る。 他の利用者でも、行きの時間は合うが、帰りの時間が合わない場合がある。</p>
議 長	<p>健康づくり推進員の間などでは、デマンドタクシー以外に、例えば福祉バスなど、他の交通機関を使っている場合はありますか。</p>
林 委 員	<p>健康づくり推進員が行事をするときは、宝寿荘の送迎バスが利用者を送った後の空き時間などを利用していることが多い。</p>
室田委員	<p>資料の4ページに杉野屋の利用者数が乗っているが、これはほとんどが病院への利用者となっている。 朝の通院には、1日1本だけ上りのバスがあるため、それを利用するが、帰りの時間が合わないため、デマンドタクシーを利用していることがほとんどだと思う。 今後、利用者を増やすには、病院への通院時間と帰りの時間を上手く合わせる必要があるのではないかと思う。</p>
高島委員	<p>デマンドタクシーは、時間に関係なく、電話予約をするといつでも迎えに来てくれるのか。</p>
事 務 局	<p>資料の3ページ目にお示ししてある時刻表の時間に合わせてご利用いただくことが出来ます。いつでもご利用いただけるという訳ではありません。</p>
早松委員	<p>材料が限られている中で、民間事業者を活用して、出来る限りのサービスを提供しているというふう感じた。</p>
石月委員	<p>元々の利用者が少ないところで導入すると、定時定路線のバスなどでは、「空気を運んでいるのではないか」、「無駄に運行しているのではないか」という意見があったりする。 それに対し、予約がなければ運行しないデマンドタクシーを導入している自治体も多いが、デマンドタクシーの利便性を高めすぎると、今度は自治体の財政負担が大きくなって来る。 私は新潟県三条市の出身だが、そこでもデマンド交通を導入している。 利用者には、健康づくりの観点から、自宅までは迎えに行かず、市内に600箇所程度設けられた停留所まで歩いてもらい、目的地となる病院などへは玄関先まで送り届ける方法をとっている。利用時間は、山間部では朝7時頃から、市内では朝8時から夕方6時頃まで利用でき、運行ダイヤを特に設けず、利用したい1時間前に予約することで利用することが出来る、ほぼタクシーに近いサービスを提供している。 利用料金も単独で利用した場合には、距離に応じた料金とし、乗り合わせの場合には、一律300円としていたが、乗り合わせでの利用が伸びず、市の</p>

<p>細川委員</p>	<p>財政負担が大きくなったため、今年の4月から利用料金の値上げを行ったが、そうするとやはり利用者が減少していった。</p> <p>デマンドタクシーを実施したことで、高齢者に外出機会を与えるといった意味では効果があったと聞いているが、制度が便利になればなるほど今度は維持が大変になってくる。利用者の需要が大きくなってくれば、今度はコミュニティバス等を充実させるなど、色んな交通機関を検討していくことが出来るのではないかと思う。</p> <p>最近、一人暮らし又は二人暮らしの高齢者が増えてきていることに併せて、「買い物弱者」が大変増えてきている。</p> <p>特に押水地区の方は、メルシーが閉店してから、一件も生鮮食品を取り扱う店舗がなく、買い物弱者が多くなってきている。</p> <p>志雄地区の方にしても、近くに大きなスーパーがないため、買い物弱者に対する生活の足を確保して欲しい。</p> <p>買い物は、毎日のことであり、そうした方が毎日食べていかれるように、交通手段を確保することが行政の務めではないかと常々感じており、そうした声も多々聞いている。</p> <p>財政事情が厳しいことは承知しているが、買い物弱者の方々を見捨てる訳にはいかないのだから、その辺りの配慮をお願いしたい。</p>
<p>議長</p>	<p>ルートについては、特に不便を感じることはないでしょうか。</p>
<p>細川委員</p>	<p>町を跨いで隣の市へ行くようなことは出来ないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>羽咋市石野町のバス停までは乗り入れをしています。</p>
<p>議長</p>	<p>それでは意見も無いようなので、続いて、議案第1号について、事務局より説明してください。</p>
<p>事務局</p>	<p>2 議事案件</p> <p>(1) 議案第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について 事務局より説明。(資料No.2 参照)</p>
<p>石月委員</p>	<p>地域内フィーダー系統には、補助金対象となるために要件があり、その中で「新規性」というものがある。この補助制度が出来る以前からあった運行路線は補助対象にならず、新たに町の補助を入れるだとか、ある程度のサービス増が図られるような見直しをする場合、補助対象として認められる制度となっている。</p> <p>宝達志水町のデマンドタクシーも、元々、町単独で運行していたため、補助の対象が、朝夕の増便した分だけになっており、個人的な意見としては、早めに自治体として手を打たなければいけないところ、本来一番苦しいところ</p>

	<p>るを救えていない制度だと思っている。</p> <p>今後は、交通体系の見直しを行う中でサービスの増加が図られるようなことがあれば、その分を支援することが出来ると思うので、良い形で見直しを図っていただきたい。</p> <p>質問だが、計画の目標として、利用者の 10%の増加を見込むとなっているが、先ほどの報告にもあったが、利用者が減ってきている中で、利用促進につながる取り組みはしてきているか。</p> <p>今年度、地域公共交通全体について、どのようにしたら町民の方が一番有効に使えるかということを検討しています。新たに購入するバス、既存のバスを含めて検討し、デマンドタクシーとの連結方法や、運行する範囲の拡大など、色々な方法を調査の中で考えていくところです。</p> <p>その中で、町民全世帯にアンケートをしながら、今年の 9 月か 10 月頃にはある程度の方向性を出したいと考えています。</p> <p>デマンドタクシーの利用促進については、一般的ですが、町広報やケーブルテレビなどで周知をしています。</p>
<p>事務局</p>	<p>今年度、地域公共交通全体について、どのようにしたら町民の方が一番有効に使えるかということを検討しています。新たに購入するバス、既存のバスを含めて検討し、デマンドタクシーとの連結方法や、運行する範囲の拡大など、色々な方法を調査の中で考えていくところです。</p> <p>その中で、町民全世帯にアンケートをしながら、今年の 9 月か 10 月頃にはある程度の方向性を出したいと考えています。</p> <p>デマンドタクシーの利用促進については、一般的ですが、町広報やケーブルテレビなどで周知をしています。</p>
<p>議長</p>	<p>意見も無いようなので、事務局の案で進めてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは同意いただいたものとして進めます。</p> <p>続いて議案第 2 号について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 議案第 2 号 自家用有償旅客運送事業に係る登録の更新について 事務局より説明。(資料No.3 参照)</p>
<p>議長</p>	<p>意見も無いようなので、事務局の案で進めてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは同意いただいたものとして進めます。</p> <p>最後に「その他」ですが、皆様から何かご意見ありますか。</p>
<p>藤士委員</p>	<p>高齢者の交通事故について、以前までは、歩行者の事故が多かったが、最近の傾向では、運転中の事故で亡くなる方が増えている。</p> <p>警察としては、高齢者の免許自主返納を推進しているが、免許を自主返納した方に対して、デマンドタクシーの助成をしてもらえれば、利用者の増加にもつながり、交通事故の減少にもつながると思う。</p> <p>この件については、今後、町と相談して進めさせていただきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。</p>
<p>議長</p>	<p>分かりました。</p> <p>事務局からは何かありますか。</p>

<p>事務局</p> <p>議長</p>	<p>3 その他</p> <p>地域公共交通の再編について</p> <p>事務局より説明。(資料No.4 参照)</p> <p>事務局からの説明について、ご意見ありますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p><閉会></p>
<p>8 資料</p>	<p>資料No.1 報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について</p> <p>資料No.2 議案第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について</p> <p>資料No.3 議案第2号 自家用有償旅客運送事業に係る登録の更新について</p> <p>資料No.4 地域公共交通の再編について</p>